第１学年

Let's Be Friends!	教科書ページ	pp. 6-19
	配当時間	8 時間
	学習時期	4 月
単元目標 【重点化領域】	◎自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。【聞くこと（L-2)】 ◎伝えたい情報を整理して、自己紹介をすることができる。【話すこと（SP-2)】	

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉小学校で既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	○	○	○	◎	○
	〈技能〉小学校で既習の表現・語句の意味や働きについての理解をもとに、自己紹介の内容を聞き取ったり、自己紹介したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	自分のことを友達に知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、自己紹介をしている。				◎	
	クラスの友達について知るために、自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	○				
主体的に学習に取り組む態度	自分のことを友達に知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、自己紹介をしようとしている。				◎	
	クラスの友達について知るために、自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	友達のことを知ろう (pp. 6-7)	• What do you like? • What sport do you like? • My favorite subject is ～. • I can ～.	**世界の中学生の住んでいる国や好きなものなどを聞き取る。** • 世界の中学生の自己紹介を聞いて、それぞれの人物の住んでいる国や好きなもの、できることを確かめる。 • 世界の中学生の自己紹介を参考に、「自分だったらどんな自己紹介をするか」を考える。	○Listen の質問への回答の様子から、世界の中学生の住んでいる国や好きなものやできることを聞き取っているかを見取る。	**★第 7 時の自己紹介の活動に向けて、世界の中学生の話の内容を参考に、自己紹介で伝えたいことを考えさせるようにする。**
2	言葉で人とつながろう (pp. 8-9)	• 気持ちや状態を表す言葉 • 相づちの表現など	**コミュニケーションで大切なことを確かめ、ペアで気持ちをたずね合う。** • コミュニケーションでいつも大切なことを確かめる。 • ペアになり、自分の名前を伝え、お互いの気持ちや状態をたずね合う。 • 音声を聞いて、会話の内容にふさわしい場面の絵を選び、それぞれの会話の場面で用いられている相づちなどの表現を確かめる。 • 音声をもう一度聞き、聞こえた表現を使ってペアでやり取りをする。	○やり取りの様子から、気持ちや状態を表す言葉を用いて互いについて話しているかを見取る。 ○Listen の質問への回答の様子から、ふさわしい場面の絵を選んでいるかを見取る。 ○やり取りの様子から、Listen で聞こえた表現を用いてペアの相手と話しているかを見取る。	**★第 7 時の自己紹介の活動に向けて、コミュニケーションで大切なことを意識させるようにする。**
3	誕生日や好きなものをたずね合おう (pp. 10-11)	• When is your birthday? — My birthday is ～. • What color do you like? — I like ～.	**登場人物の誕生日や好きな色を聞き取り、クラスの友達と共通点を見つけるためにやり取りをする。** • 会話を聞いて、登場人物の誕生日を確かめる。 • 絵や文字を見たり、音声を聞いたりして月名を表す言葉を確かめる。 • 先生が言う日付を指さす活動を通して、日付を表す言葉を確かめる。 • 会話を聞いて、登場人物の好きな色を確かめる。 • 先生が言う色やものを指さす活動を通して、色などを表す言葉を確かめる。 • 誕生日や好きなものなどをたずね合い、クラスの友達との共通点を見つける。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物の誕生日を聞き取っているかを見取る。 ○Listen の質問への回答の様子から、登場人物の好きな色を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子から、友達との共通点を見つけるために、誕生日や好きなものなどを話しているかを見取る。	**★第 7 時の自己紹介の活動に向けて、登場人物のやり取りを参考に、自己紹介で伝えたいことを考えさせるようにする。**
4	春休みの出来事を発表しよう (p. 12)	• I went to ～. • I enjoyed ～. • It was fun.	**登場人物が春休みにしたことを聞き取り、自分が春休みにしたことを発表する。** • 音声を聞いて、登場人物が春休みにしたことを確かめる。 • 自分が春休みにしたことを発表する。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が春休みにしたことを聞き取っているかを見取る。 ○発表の様子から、春休みにしたことについて話しているかを見取る。	**★第 7 時の自己紹介の活動に向けて、登場人物のやり取りを参考に、自己紹介で伝えたいことを考えさせるようにする。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	中学校でしたいことを伝え合おう (p. 13)	• I can ～. • I want to ～. • What do you want to do?	**登場人物ができることや中学校でしたいことなどを聞き取り、自分ができることやしたいことを伝え合う。** • 音声を聞いて、登場人物ができることや中学校でしたいことを確かめる。 • ペアになり、できることや中学校でしたいことを伝え合う。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物ができることや中学校でしたいことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子から、できることや中学校でしたいことをペアの相手と話しているかを見取る。	**★第 7 時の自己紹介の活動に向けて、登場人物のやり取りを参考に、自己紹介で伝えたいことを考えさせるようにする。**
6	数字のゲームで仲よくなろう (pp. 14-15)	• I can ～. • What ～ do you like?	**数字や自分のことを言ったりたずねたりするときの言い方を確かめる。** • ルーレットで出た目の数だけマスを進み、止まったマスに書かれた数字を言ったり、書かれたイラストに応じて話したりしながら、ゴールを目指すゲームを行う。	○ゲームへの取り組みの様子から、数字や設定されたテーマについて話したり質問したりしているかを見取る。	**★第 7 時の自己紹介の活動に向けて、友達の発話を参考に、自己紹介で伝えたいことを考えさせるようにする。**
7	自己紹介をしよう (pp. 16-17)	• I like ～. • I can ～. • I want to ～.	**自己紹介をする。** • クラスやグループで、互いのことをよく知るために、好きなもの、できること、中学校でしたいことなどが伝わるように自己紹介をし合う。 • 友達の自己紹介を聞くときに、それぞれのすてきな一面を見つけてメモしたり、聞いたことに対してコメントをしたりする。 • 本時の活動を振り返り、自己紹介をするときに工夫したことや友達から学んだことを日本語でメモする。	**◎自己紹介の様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表）」における 3 つの観点で評価する。** ○Listen の質問への回答の様子から、友達のすてきな一面を聞き取っているかを見取る。 ○振り返りシート等から、どのような振り返りをしているかを見取る。	
8	アルファベットを確かめよう (pp. 18-19)	• アルファベットの大文字・小文字	**発音と綴りの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりする。** • 教科書にあるジングルを唱える。 • 単語の音声を聞いて、その単語が表すものを絵の中から探して指さす。 • 友達や先生と名前の綴りをたずね合って、書く。 • 単語の音声を聞いて、その単語の初めの文字を書く。	○Listen and Read／Write の質問への回答から、アルファベットの大文字と小文字を言ったり、書いたりしているかを見取る。 ○Listen and Read／Write の質問への回答から、単語が表すものを絵の中から探して指さしたり、単語の初めの文字を書いたりしているかを見取る。	

Unit 1	Here We Go!	教科書ページ	pp. 26-35
		配当時間	9 時間
		学習時期	4～5 月
題材	出会い		
単元目標 【重点化領域】	◎会話から、話し手についての情報を聞き取ることができる。【聞くこと（L-1)】 ◎自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。【書くこと（W-1)】		
基本文	Part 1　**I'm** Eri. ／ **I'm** a student there. ／ **I'm** from Japan. Part 2　I **like** spring. ／ I **don't like** spring. Part 3　I **can** play the drums. ／ I **can't** play the drums.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉I am [I'm] ～. / I (don't) like ～. / I can [can't] ～. の文の意味・形・使い方を理解している。 〈技能〉I am [I'm] ～. / I (don't) like ～. / I can [can't] ～. などについての理解をもとに、自己紹介の内容を聞き取ったり、自分の情報を書いたりする技能を身につけている。	◎	○	○	○	◎
思考・判断・表現	登場人物について知るために、自己紹介カードをもとにした会話から、必要な情報を聞き取っている。	◎				
	自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できることなど、自分の情報を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	登場人物について知るために、自己紹介カードをもとにした会話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	自分のことを友達に知ってもらうために、自己紹介カードに名前や好きなもの、できることなど、自分の情報を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp. 26-27)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You)、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 28)	• **I'm** Eri. • **I'm** a student there. • **I'm** from Japan.	**本文の内容を捉え、文脈の中で I am [I'm] ～. の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、I am [I'm] ～. の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、I am [I'm] ～.の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 29)		**目的や場面に沿って I am [I'm] ～.を使う練習をする。** • 登場人物の自己紹介から、それぞれの出身地や年齢を聞き取る。 • ペアになり、自己紹介をし合う。 • 自分の名前を伝える文を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物の出身地や年齢を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、I am [I'm] ～.などを用いて、それぞれの出身地や年齢について話している／名前を書いているかを見取る。	**★書く活動の際、教科書を参考にさせるなど、人に伝えるために正確さを意識して書くことを指導することで、Goal の「自己紹介カードに、自分の情報を書く」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 30)	• I **like** spring. • I **don't like** spring.	**本文の内容を捉え、文脈の中で I (don't) like ～.の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、I (don't) like ～.の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、I (don't) like ～. について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの「必要な情報」（Eri と Kota は春が好きか）を探しながら聞く／読むよう促すなど、Goal の「会話から、話し手についての情報を聞き取る」活動につながる指導を行う。**
5	Part 2 活動 (p. 31)		**目的や場面に沿って I (don't) like ～.を使う練習をする。** • 登場人物の話から、それぞれの好きなもの・好きでないものを聞き取る。 • ペアになり、好きなものについて伝え合う。 • 自分の好きなものを伝える文を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、それぞれが好きなもの・好きでないものを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、I (don't) like ～. などを用いて、自分の好きなものについて話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、教科書を参考にさせるなど、人に伝えるために正確さを意識して書くことを指導することで、Goal の「自己紹介カードに、自分の情報を書く」活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
6	Part 3 本文 (p. 32)	• I **can** play the drums. • I **can't** play the drums.	**本文の内容を捉え、文脈の中で I can [can't] ～.の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、I can [can't] ～.の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、I can [can't] ～. について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの「必要な情報」（Tina と Eri の得意なこと）に注意を向けて聞く／読むよう促すなど、Goal の「会話から、話し手についての情報を聞き取る」活動につながる指導を行う。**
7	Part 3 活動 (p. 33)		**目的や場面に沿って I can [can't] ～.を使う練習をする。** • 登場人物の話から、それぞれのできること・できないことを聞き取る。 • ペアになり、できないこと／できることを伝え合う。 • 自分のできることを伝える文を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、それぞれができること・できないことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、I can [can't] ～. などを用いて、できないこと／できることを話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、ここでの「必要な情報」（それぞれができることとできないこと）を探しながら聞くよう促すなど、Goal の「会話から、話し手についての情報を聞き取る」活動につながる指導を行う。** **★書く活動の際、教科書を参考にさせるなど、人に伝えるために正確さを意識して書くことを指導することで、Goal の「自己紹介カードに、自分の情報を書く」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (pp. 34-35)		**会話から、話し手についての情報を聞き取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 自己紹介カードをもとにした会話から、登場人物の情報を聞き取る。 • Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。 **自己紹介カードに、自分の情報を書く。** • 自己紹介カードに、自分の情報を書き込む。 • 書いた自己紹介カードを友達と読み合う。 • 学習状況に応じて、Extra のカードをもとに、ALT に自己紹介をする活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。** **◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	

Unit 2	School Activities	教科書ページ	pp. 36-44
		配当時間	8 時間
		学習時期	（5～）6 月
題材	部活動など		
単元目標 【重点化領域】	◎会話から、興味のあることなどについての質問を聞き取ることができる。 【聞くこと（L-1）】 ◎興味のあることなどについてたずねることができる。【話すこと（SI-1）】		
基本文	Part 1　**You are** a new student. 　　**Are you** a new student?　— **Yes, I am**. / **No, I'm not**. Part 2　**Do** you play an instrument?　— Yes, I **do**. / No, I **don't**. Part 3　**Can** you read it?　— Yes, I **can**. / No, I **can't** .		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉Are you ～? / Do you ～? / Can you ～? の文の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	◎	○	○
	〈技能〉Are you ～? / Do you ～? / Can you ～? などについての理解をもとに、部活動などについて実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物が誘われた活動や、たずねられたことなどを知るために、やり取りから、必要な情報を聞き取っている。	◎				
	自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	登場人物が誘われた活動や、たずねられたことなどを知るために、やり取りから、必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	自分がしている活動のメンバーを見つけるために、友達が興味のあることなどについて、その場でたずねようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp.36-37)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 38)	• **You are** a new student. • **Are you** a new student? — **Yes, I am**. / **No, I'm not**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で Are you ～? の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、Are you ～? の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、Are you ～? の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 39)		**目的や場面に沿って Are you ～? を使う練習をする。** • 会話を聞いて、演劇部の見学に来た生徒が新入生かどうか、演劇部に興味があるかどうかを聞き取る。 • ペアになり、興味のあることをたずね合う。 • 友達にたずねた質問を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、新入生かどうか、演劇部に興味があるかどうかを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、Are you ～? の文などを用いて、好きなことについて話している／書いているかを見取る。	**★話す活動の際、興味のあることについていろいろな質問をするなど、小学校既習の表現などを思い出させておくことで、Goal の「興味のあることなどについてたずねる」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 40)	• **Do** you play an instrument? — Yes, I **do**. / No, I **don't**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で Do you ～? の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、Do you ～? の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、Do you ～? について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの「必要な情報」(Mr. Utada は Kota にどのような質問をしているか) を探しながら聞く／読むよう促すなど、Goal の「会話から、興味のあることなどについての質問を聞き取る」活動につながる指導を行う。**
5	Part 2 活動 (p. 41)		**目的や場面に沿って Do you ～? を使う練習をする。** • 会話から、登場人物がすることとその頻度を聞き取る。 • ペアになり、自分がすることを友達もしているかどうかをたずね合う。 • 友達にたずねた質問を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がすることとその頻度を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、Do you ～? などを用いて、自分がすることを友達もしているかどうかを話している/書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、ここでの「必要な情報」(どのような質問をされているか) を探しながら聞くよう促すなど、Goal の活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
6	Part 3 本文 (p. 42)	• **Can** you read it? — Yes, I **can**. / No, I **can't**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で Can you ～? の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、Can you ～?の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、Can you ～? について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 43)		**目的や場面に沿って Can you ～? を使う練習をする。** • 会話から、登場人物ができることとできないことを捉える。 • ペアになり、できるかどうかをたずねる質問を考えて、たずね合う。 • 友達にたずねた質問を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物ができることとできないことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、Can you ～? などを用いて、できるかどうかを話している／書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 44)		**会話から、興味のあることなどについての質問を聞き取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 登場人物が部活動に誘われる場面の会話から、誘われた部活ややり取りの内容を聞き取る。 • Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。 **興味のあることなどについてたずねる。** • 友達に興味のあることなどをたずねたり、相手の返答に応じて自分がしている活動に誘ったりするやり取りをする。 • 質問の内容を見直し、もう一度やり取りする。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。** **◎Goal に設定された課題にもとづくやり取りや取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「誘うための質問が、うまくできているか」の観点で、やり取りの内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**

World Tour 1	世界の中学生①	教科書ページ	p. 45
		配当時間	（1 時間）
		学習時期	6 月
題材	世界の中学生の学校生活		
単元目標	学校生活の紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	○				
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、学校生活について紹介する動画の内容を聞き取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	世界の中学生について知るために、その人の学校生活などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合っている。					
主体的に学習に取り組む態度	世界の中学生について知るために、その人の学校生活などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合おうとしている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 45		**世界の中学生が学校生活を紹介している動画から、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 自分たちとの共通点や相違点を考えながら紹介動画を見て、おおまかな内容を捉える。気づいたことはメモしておく。 • ペアになり、メモをもとに、気がついたことや驚いたことを伝え合う。 • 全体で動画の詳細を確かめた後、もう一度動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 • 学習状況に応じて、Extra の自分の学校生活を世界の中学生に向けて紹介する活動に取り組む。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○動画を視聴して取ったメモなどから、概要や自分との共通点と相違点を聞き取っているか、また自分たちとの相違点等に気づいて伝え合っているかを見取る。	

Unit 3	Enjoy the Summer	教科書ページ	pp. 46-54
		配当時間	8 時間
		学習時期	（6～）7 月
題材	夏休み		
単元目標 【重点化領域】	◎会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取ることができる。 【聞くこと（L-1）】 ◎夏休みにすることなどについて、その場で話すことができる。 【話すこと（SP-1）】		
基本文	Part 1　**What** do you do during the summer vacation**?** 　　— I usually **visit my grandparents**. Part 2　I like danc**ing**.／Do you like danc**ing**? Part 3　I want **to get** that blue one.／Do you want **to try** it?		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉What do you ～?、動詞の-ing 形、want to ～の文の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	○	◎	○
	〈技能〉What do you ～?、動詞の-ing 形、want to ～などについての理解をもとに、夏休みについて、会話の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	Ms. Thusi のことを学級新聞に書くために、メモをもとに会話を聞いて、必要な情報を捉えている。	◎				
	Ms. Thusi が知りたいことに応えるために、夏休みにすることなどについて、その場で話している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	Ms. Thusi のことを学級新聞に書くために、メモをもとに会話を聞いて、必要な情報を捉えようとしている。	◎				
	Ms. Thusi が知りたいことに応えるために、夏休みにすることなどについて、その場で話そうとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp.46-47)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 48)	• **What** do you do during the summer vacation**?** — I usually **visit my grandparents**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で What do you ～? の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、What do you ～? の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、What do you ～? の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの「必要な情報」（Kota が夏休みにすること）を探しながら聞く／読むよう促すなど、Goal の「会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取る」活動につながる指導を行う。**
3	Part 1 活動 (p. 49)		**目的や場面に沿って What do you ～? を使う練習をする。** • 会話から、登場人物が週末にすることを聞き取る。 • ペアになり、週末にすることを伝え合う。 • 自分が週末にすることを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が週末にすることについての具体的な情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、What do you ～? などを用いて、週末にすることについて話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、ここでの「必要な情報」（登場人物が週末にすること）を探しながら聞くよう促すなど、Goal の「会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取る」活動につながる指導を行う。** **★話す活動の際、週末にすることについて Tina など登場人物のせりふを参考に話すよう促すなど、Goal の「夏休みにすることなどについて、その場で話す」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 50)	• I like danc**ing**. • Do you like danc**ing**?	**本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の-ing 形の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、動詞の-ing 形の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、動詞の-ing 形について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 51)		**目的や場面に沿って動詞の-ing 形を使う練習をする。** • 会話から、登場人物が好きなこと・好きではないことなどを聞き取る。 • ペアになり、好きなことについてたずね合う。 • 友達にたずねた好きなことについての質問を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が好きなこと、好きではないことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、動詞の-ing 形などを用いて、好きなことについて話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 52)	• I want **to get** that blue one. • Do you want **to try** it?	**本文の内容を捉え、文脈の中で「want to＋動詞の原形」の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、「want to＋動詞の原形」の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、「want to＋動詞の原形」について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの必要な情報（Nick がしたいこと)に注意を向けて聞く／読むよう促すなど、Goal の「会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取る」活動につながる指導を行う。**
7	Part 3 活動 (p. 53)		**目的や場面に沿って「want to＋動詞の原形」を使う練習をする。** • 会話から、登場人物がしたいことを聞き取る。 • ペアになり、夏祭りでしたいことをたずね合う。 • 自分が夏祭りでしたいことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がしたいことなどを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、「want to＋動詞の原形」などを用いて、夏祭りでしたいことを話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、ここでの「必要な情報」(夏祭りで登場人物がしたいこと）を探しながら聞くよう促すなど、Goal の「会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取る」活動につながる指導を行う。**
8	Goal (p. 54)		**会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 登場人物の会話から、Ms. Thusi が南アフリカで夏休みにすることや、今年の夏に日本でしたいことを聞き取る。 • Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。 **夏休みにすることなどについて、その場で話す。** • グループになり、自分が夏休みにすることやしたいことについて話す。 • 伝える内容や表現を見直し、もう一度発表を行う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。** **◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表)」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「聞いたり読んだりした英語を、自分の話に生かせているか」の観点で、発表の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**

Let's Read 1	What Am I?	教科書ページ	p. 55
		配当時間	1 時間
		学習時期	7 月
題材	クイズ		
単元目標 【重点化領域】	◎説明文から、クイズの解答に必要な情報を読み取ることができる。 【読むこと（R-1）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉動作を表す語句の意味や、I (don't) like ～. ／ I can [can't] ～. の意味や働きなどを理解している。	○	◎			
	〈技能〉動作を表す語句の意味や、I (don't) like ～. ／ I can [can't] ～. の意味や働きなどの理解をもとに、クイズの内容を読み取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	クイズの答えを知るために、解答の手がかりが書かれた文章から、必要な情報を読み取っている。		◎			
主体的に学習に取り組む態度	クイズの答えを知るために、解答の手がかりが書かれた文章から、必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p.55		**タイトルや挿絵から、説明文の内容を予想する。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 挿絵が表している動物を考えた後、タイトルや挿絵から、本文の内容を予想する（Before You Read）。 **説明文全体を通して聞いたり読んだりして、本文から‘I’についての情報を読み取る。** • 本文全体を通して聞き、内容をイメージする。 • 本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 • 本文についての T or F や Q&A などを通して、‘I’についての情報を読み取る。 **“What am I?” の答えを確かめる。** • ‘I’について読み取った情報をもとに、“What am I?”の答えを確かめる（After You Read）。 • 本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○Before You Read への回答の様子から、本文の内容をどのように予想しているかを見取る。 **◎After You Read への回答（ワークシート等）を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における３つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	

Active Grammar 1	am, are／一般動詞／can	教科書ページ	pp. 56-57
		配当時間	2 時間
		学習時期	7 月
題材	自分と相手のことを伝える言い方		
単元目標	am, are、一般動詞、can を使った文の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉am, are、一般動詞、can を使った文の意味・形・使い方を理解している。 〈技能〉am, are、一般動詞、can を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	○	○	○	○	○

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 56-57	• am, are〈be 動詞〉 • 一般動詞 • can〈助動詞〉 【復習】	**am, are や一般動詞を使った文の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 1～3 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • am, are を使った肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 • １つ目の Grammar Hunt の活動を行う。 • am, are を使う練習をする。 • 一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 • ２つ目の Grammar Hunt の活動を行う。 • 一般動詞を使う練習をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの文の主語と be 動詞、および一般動詞を理解することができているかを見取る。	
2			**can を使った文の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • can を使った肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 • ３つ目の Grammar Hunt の活動を行う。 • can を使う練習をする。 • Speak (About You)の活動を行う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの文の助動詞や意味を理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で can の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

You Can Do It! 1	友達の新しい一面を見つけよう	教科書ページ	pp. 58-59
		配当時間	2 時間
		学習時期	7 月
題材	友達		
単元目標 【重点化領域】	◎自分のことを伝え、相手のことをよく知ることができる。 【聞くこと（L-1)】【話すこと（SI-1)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	◎		◎		
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことについて、会話の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	友達の新たな一面を見つける質問をするときの参考にするために、登場人物の会話から、必要な情報を聞き取っている。	◎				
	お互いについてより深く知るために、興味のあることなどについて、その場でやり取りしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	友達の新たな一面を見つける質問をするときの参考にするために、登場人物の会話から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	お互いについてより深く知るために、興味のあることなどについて、その場でやり取りしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 58		**登場人物のやり取りから、必要な情報を聞き取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 登場人物のやり取りから、Tina が 3 人の友達について知っていたことや、新しくわかったことを聞き取る。 • やり取りの詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における３つの観点で評価する。**	
2	p. 59		**やり取りを通して、友達の新しい一面を見つける。** • 知っている情報を手がかりに、友達に質問をする。 • もう一度やり取りをして、友達から新しい情報をきき出す。 • 学習状況に応じて、Extra の新しくわかったことをメモする活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り)」における３つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Speaking モデル」を参照したり、Look Back にある既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

Unit 4	Our New Friend	教科書ページ	pp. 60-69
		配当時間	9 時間
		学習時期	9 月
題材	転校生		
単元目標 【重点化領域】	◎人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと（L-1）】 ◎伝えたい情報を整理して、人物を紹介することができる。【話すこと（SP-2）】		
基本文	Part 1　**This is** Ms. Thusi.　**She's** our English teacher. 　　**That's** Mr. Hoshino.　**He's** our P.E. teacher. Part 2　**Who**'s that?　— He's **a new student**. Part 3　**Is** this our classroom?　— Yes, it **is**. / No, it **isn't**. 　　This **is not** our classroom.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉3 人称単数を主語とする be 動詞の文、Who's ～?、Is this [he / she] ～? の文の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	○	◎	○
	〈技能〉3 人称単数を主語とする be 動詞の文、Who's ～?、Is this [he / she] ～? などについての理解をもとに、身近な人物について、説明の内容を聞き取ったり、話したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	話題にあがっている人物を特定するために、登場人物の説明から、必要な情報を聞き取っている。	◎				
	ALT に他の教科の先生のことをより知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	話題にあがっている人物を特定するために、登場人物の説明から、必要な情報を聞き取ろうとしている。	◎				
	ALT に他の教科の先生のことをより知ってもらうために、伝えたい情報を整理して、紹介したい先生について発表しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp. 60-61)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 62)	• **This is** Ms. Thusi. **She's** our English teacher. • **That's** Mr. Hoshino. **He's** our P.E. teacher.	**本文の内容を捉え、文脈の中で He [She]　is ～. の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、He [She] is ～.の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、He [She] is ～. の文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの「必要な情報」(Mr. Hoshino はどんな先生か)を探しながら聞く／読むよう促すなど、Goal の「人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取る」活動につながる指導を行う。**
3	Part 1 活動 (p. 63)		**目的や場面に沿って He [She]　is ～. を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、それぞれの先生についての情報を聞き取る。 • ペアになり、好きなキャラクターや有名人を紹介し合う。 • 自分が紹介した人物について書く。	○Listen の質問への回答の様子から、それぞれの先生についての具体的な情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、He [She] is ～. などを用いて、好きなキャラクターや有名人について話している/書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、ここでの「必要な情報」(人物の特徴を表す言葉)を探しながら聞くよう促すなど、Goal の「人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取る」活動につながる指導を行う。** **★話す活動の際、好きなキャラクターや有名人について、人物の性格や好きなところなど、詳しい情報ををつけ足すよう促すことで、Goal の「伝えたい情報を整理して、人物を紹介する」活動につなげる。**
4	Part 2 本文 (p. 64)	• **Who**'s that? — He's **a new student**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で Who's ～? の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、Who's ～? の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、Who's ～?について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 65)		**目的や場面に沿って Who's ～? を使う練習をする。** • 会話から、登場人物が好きな有名人についての情報を聞き取る。 • ペアになり、好きなスポーツ選手やミュージシャンなどをたずね合う。 • 好きな有名人について友達にたずねた質問と、友達の答えを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が好きな有名人が誰かを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、Who's ～? などを用いて、好きなスポーツ選手や歌手などについて話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 66)	• **Is** this our classroom? — Yes, it **is**. / No, it **isn't**. • This **is not** our classroom.	**本文の内容を捉え、文脈の中で Is this [he / she] ～? の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、Is this [he / she] ～? の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、Is this [he / she] ～? について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 67)		**目的や場面に沿って Is this [he / she] ～? を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、話題にしている施設を聞き取る。 • ペアになり、自分の町にあるものや名物のシルエットを絵に描いて、クイズを出し合う。 • 友達からされた質問を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が話題にしている施設を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、Is this [he / she] ～? などを用いて、自分の町にあるものや名物について話している／書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 68)		**人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 会話から、ある人物の特徴を聞き取り、話題になっているのがどの人物かを捉える。 • Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 69)		**伝えたい情報を整理して、人物を紹介する。** • グループになり、紹介したい先生を 1 人決め、その先生について伝えたい情報を書き出す。 • 伝えたい情報を整理して発表の練習を行い、伝える内容や組み立てを見直す。 • ALT に向けて、紹介したい先生について発表する。また、友達の発表を聞いて、初めて知ったことや驚いたことを伝え合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「ALT に、自分の伝えたいことをわかってもらえる発表になっているか」の観点で、発表を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだりしたことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 1	落とし物	教科書ページ	p. 70
		配当時間	1 時間
		学習時期	9 月
題材	落とし物		
単元目標 【重点化領域】	◎落とし物の持ち主を探すやり取りをすることができる。【話すこと（SI-2）】		
基本文	• **Whose** pencil case is that? • **Whose** is it?		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉whose で始まる疑問文や「～のもの」という言い方の意味・使い方を理解している。 〈技能〉whose や「～のもの」という言い方についての理解をもとに、落とし物の持ち主についてやり取りをする技能を身につけている。	○		◎		
思考・判断・表現	落とし物の持ち主を探すために、誰のものかを尋ねたり、相手からの質問に持ち主を伝えたりしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	落とし物の持ち主を探すために、誰のものかを尋ねたり、相手からの質問に持ち主を伝えたりしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 70	• **Whose** pencil case is that? — It's Hiro**'s**. • Is it **yours**? — No, it's not **mine**.	**落とし物の持ち主を探すやり取りをする。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 70 のやり取り（モデルスキット）を聞いて、内容を確かめる。 • whose で始まる疑問文や「～のもの」という表現の意味・使い方、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における３つの観点で評価する。**	

Active Grammar 2	代名詞	教科書ページ	p. 71
		配当時間	1 時間
		学習時期	10 月
題材	人や物事の代わりをする言葉		
単元目標	代名詞の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉人称代名詞や指示代名詞の意味・形・使い方を理解している。 〈技能〉人称代名詞や指示代名詞を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	○	○	○	○	○

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 71	• 人称代名詞（主格・所有格・目的格・所有代名詞） • 指示代名詞 【復習】	**人称代名詞や指示代名詞の形や意味、働きを理解し、使う練習をする。** • Unit 3, 4 のストーリーをもとに、人称代名詞や指示代名詞の使用場面や意味を確かめる。 • 人称代名詞の形を整理する。 • 人称代名詞の形を変えながら言う練習をする。 • 指示代名詞の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 人称代名詞や指示代名詞を使う練習をする。 • Speak (About You)の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの代名詞が表すものや文の意味などを理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で人称／指示代名詞の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Unit 5	Hi, David!	教科書ページ	pp. 72-81
		配当時間	9 時間
		学習時期	10 月
題材	ニューヨークの友達		
単元目標 【重点化領域】	◎チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと（R-1）】 ◎観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出すことができる。【話すこと（SI-2）】		
基本文	Part 1　**Turn** on your camera.／**Don't be** shy.／**Let's begin**. Part 2　**Where**'s the science lab?　— It's **on** the first floor. **Where** do you have lunch?　— We usually eat **in** the cafeteria. Part 3　**When**'s your next match?　— It's next month. **When** do you practice?　— **After** school and **on** weekends.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉命令文、Where ～?、When ～? の文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	◎	○	○
	〈技能〉命令文、Where ～?、When ～? などについての理解をもとに、観光プランについてのチャットのやり取りの内容を読み取ったり、観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	観光プランを伝えるメモを完成させるために、チャットのやり取りから、必要な情報を読み取っている。		◎			
	おすすめの観光プランを考えるために、ALT の行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	観光プランを伝えるメモを完成させるために、チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			
	ALT におすすめの観光プランを考えるために、行きたい場所やしたいことなどについてやり取りしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp.72-73)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 74)	• **Turn** on your camera. • **Don't be** shy. • **Let's begin.**	**本文の内容を捉え、文脈の中で命令文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、命令文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、命令文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 75)		**目的や場面に沿って命令文を使う練習をする。** • 観光ツアーのアナウンスを聞いて、どの場面のアナウンスかを捉える。 • ペアになり、標識の意味を説明し合う。 • 選んだ標識の意味を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、どの場面のアナウンスかを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、命令文などを用いて、標識の意味について話している／書いているかを見取る。	
4	Part 2 本文 (p. 76)	• **Where**'s the science lab? — It's **on** the first floor. • **Where** do you have lunch? — We usually eat **in** the cafeteria.	**本文の内容を捉え、文脈の中で Where ～? の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、Where ～? の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、Where ～? について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの「必要な情報」(David が昼食をとる場所）を探しながら聞く／読むよう促すなど、Goal の「チャットのやり取りから、必要な情報を読み取る」活動につながる指導を行う。**
5	Part 2 活動 (p. 77)		**目的や場面に沿って Where ～? を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、校内の施設がある場所を聞き取る。 • ペアになり、校内の施設がある場所をたずね合うやり取りをする。 • やり取りした内容を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、校内の施設がある場所を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、Where ～? などを用いて、校内の施設について話している／書いているかを見取る。	**★話す活動の際、校内の施設についていろいろな質問をするよう促すなど、Goal の「観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出す」活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
6	Part 3 本文 (p. 78)	• **When**'s your next match? — It's next month. • **When** do you practice? — **After** school and **on** weekends.	**本文の内容を捉え、文脈の中で When ～? の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、When ～? の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、When ～? について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、ここでの「必要な情報」（David の次の試合はいつか）を探しながら聞く／読むよう促すなど、Goal の「チャットのやり取りから、必要な情報を読み取る」活動につながる指導を行う。**
7	Part 3 活動 (p. 79)		**目的や場面に沿って When ～? を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、それぞれの行動をいつするのかを聞き取る。 • ペアになり、1 日の生活についてインタビューをし合う。 • 友達とやり取りした内容を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がそれぞれの行動をいつするかを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、When ～? などを用いて、1 日の生活について話している/書いているかを見取る。	
8	Goal (p. 80)		**チャットのやり取りから、必要な情報を読み取る。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 登場人物のチャットのやり取りから、必要な情報を読み取り、観光プランを伝えるためのメモを完成させる。 • Q&A などを通して、会話の内容の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 81)		**観光プランを考えるために、時間や場所の希望をきき出す。** • グループになり、行きたい場所やしたいことなどについて ALT にインタビューをする。 • 質問内容を見直し、さらに知りたいことを ALT にインタビューをする。 • グループで、ALT からきき出した情報をもとに、おすすめの観光プランを考え、メモにまとめる。 • 学習状況に応じて、Extra のおすすめのプランを ALT に向けて発表する活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「ALT の希望をきき出すことができているか」の観点で、やり取りの内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 2	注文	教科書ページ	pp. 82-83
		配当時間	1 時間
		学習時期	11 月
題材	世界各国の食べ物		
単元目標 【重点化領域】	◎買い物や注文のやり取りをすることができる。【話すこと（SI-2)】		
基本文	• **Can I have** the spaghetti**?** • **Which would you like,** tomato spaghetti **or** basil spaghetti**?** －**I'd like** tomato spaghetti, please. • **How much** is it**?** • **How many** pieces do you want**?**		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉Can I have ～? や I'd like ～, please. を使った注文のしかた、How much ～? や How many ～? を使った金額や数のたずね方など、買い物や注文特有の表現の意味・使い方を理解している。 〈技能〉Can I have ～? や I'd like ～, please. を使った注文のしかた、How much ～? や How many ～? を使った金額や数のたずね方など特有の表現についての理解をもとに、買い物や注文のやり取りをする技能を身につけている。	○		◎		
思考・判断・表現	屋台のメニュー表を見て自分が食べたい物を買うために、注文したいものの数や値段を聞いたり、相手からの質問に答えたりするやり取りをしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	屋台のメニュー表を見て自分が食べたい物を買うために、注文したいものの数や値段を聞いたり、相手からの質問に答えたりするやり取りをしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 82-83	• **Can I have** the spaghetti**?** • **Which would you like,** tomato spaghetti **or** basil spaghetti**?** －**I'd like** tomato spaghetti, please. • **How much** is it**?** －It's one thousand yen. • **How many** pieces do you want**?** －Two pieces, please.	**買い物や注文のやり取りをする。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 82 のやり取り（モデルスキット）を聞いて、内容を確かめる。 • Can I have ～? や I'd like ～, please. を使った注文のしかた、How much ～? を使った金額のたずね方など、買い物や注文特有の表現の意味・使い方、語句の意味などを確かめ、p. 82 のモデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、p. 82 のモデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • How many ～? を使った数のたずね方を確かめ、p. 83 のモデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、p. 83 吹き出し内のモデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り)」における３つの観点で評価する。**	

Unit 6	Cheer Up, Tina	教科書ページ	pp. 84-93
		配当時間	9 時間
		学習時期	11 月
題材	家族		
単元目標 【重点化領域】	◎身近な人を紹介する文章を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 【読むこと（R-2）】 ◎友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書くことができる。【書くこと（W-2）】		
基本文	Part 1　**She** like**s** singing and dancing. Part 2　**Does she** have a cold?　—Yes, **she does**. / No, **she doesn't**. Part 3　**She doesn't** go to school.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文・疑問文・否定文などについての理解をもとに、紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物が友達のどんなところを伝えたいと思っているかを知るために、紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	友達のすてきなところを ALT に伝えるために、伝えたい情報を整理して、紹介文を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	登場人物が友達のどんなところを伝えたいと思っているかを知るために、紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			
	友達のすてきなところを ALT に伝えるために、伝えたい情報を整理して、紹介文を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp.84-85)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 86)	• **She** like**s** singing and dancing.	**本文の内容を捉え、文脈の中で 3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 87)		**目的や場面に沿って 3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、話題や紹介している家族の情報などを聞き取る。 • ペアになり、互いにインタビューをし合って情報を集め、新しく知ったことを発表する。 • 会話の情報を整理して友達を紹介する文章を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物の家族についての話の概要を捉え、具体的な情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、3 人称単数を主語とする一般動詞の肯定文などを用いて、互いにインタビューし合って情報を集め、知ったことを話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、細部にこだわりすぎず、「おおまかな内容」(Hajin が家族のどんなところを紹介しているか）を捉えるよう意識して聞くよう促すなど、Goal の「身近な人を紹介する文章を読み、おおまかな内容を捉える」活動につながる指導を行う。** **★書く活動の際、詳しい情報を付け足すよう促すなど、伝えたいことがよりわかりやすいように具体的に書く練習をさせることで、Goal の「友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書く」活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
4	Part 2 本文 (p. 88)	• **Does she** have a cold? — Yes, **she does**. / No, **she doesn't**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で、3 人称単数を主語とする一般動詞の疑問文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、3 人称単数を主語とする一般動詞の疑問文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、3 人称単数を主語とする一般動詞の疑問文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
5	Part 2 活動 (p. 89)		**目的や場面に沿って 3 人称単数を主語とする一般動詞の疑問文を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、親戚についての情報を聞き取る。 • ペアになり、教科書の登場人物についての質問をし合う。 • いいなと思った、友達や自分の質問を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物の親戚についての具体的な情報を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、3 人称単数を主語とする一般動詞の疑問文などを用いて、教科書の登場人物について話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (p. 90)	• **She doesn't** go to school.	**本文の内容を捉え、文脈の中で 3 人称単数を主語とする一般動詞の否定文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、3 人称単数を主語とする一般動詞の否定文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、3 人称単数を主語とする一般動詞の否定文ついて理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 91)		**目的や場面に沿って 3 人称単数を主語とする一般動詞の否定文を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、家ですること／しないことを聞き取る。 • ペアになり、家でする手伝いについてたずね合い、知ったことを発表する。 • 友達について発表したことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が家ですること／しないことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、3 人称単数を主語とする一般動詞の否定文などを用いて、家でする手伝い／しない手伝いについて話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、自分の気持ちを付け足すよう促すなど、書き手の気持ちが伝わる文章を書く練習をさせることで、Goal の「友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書く」活動につなげる。**
8	Goal (p. 92)		**身近な人を紹介する文章を読み、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 友達を紹介する文を読み、おおまかな内容や書き手の気持ちを捉える。 • Q&A などを通して、紹介文の詳細や新出語句などを確かめる。 • おおまかな文章構成を整理する。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 93)		**友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書く。** • 友達について伝えたい内容を書き出した後、書くことを整理する。 • 紹介文を書いて、文章の内容や構成を見直す。 • 書いた文章を友達と読み合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「友達のすてきなところが伝わるように、具体的に書けているか」の観点で、文章の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Daily Life 3	バス停	教科書ページ	p. 94
		配当時間	1 時間
		学習時期	11 月
題材	バスの時刻表		
単元目標 【重点化領域】	◎時刻についてのやり取りをすることができる。【話すこと（SI-2)】		
基本文	• **What time** does the next bus come**?**		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉What time ～? を使った時刻の尋ね方や時刻の言い方を理解している。	○		◎		
	〈技能〉What time ～? を使った時刻の尋ね方や時刻の言い方についての理解をもとに、時刻についてやり取りする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	バス停で困っている観光客を助けるために、相手を気遣う言葉をかけたり、バスの行先や時刻についての質問に答えたりするやり取りをしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	バス停で困っている観光客を助けるために、相手を気遣う言葉をかけたり、バスの行先や時刻についての質問に答えたりするやり取りをしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 94	• **What time** does the next bus come**?** — The next bus comes at 10:10. • It's ten **o'clock** now.	**時刻についてのやり取りをする。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 94 のやり取り（モデルスキット）を聞いて、内容を確かめる。 • What time ～? を使った時刻のたずね方や時刻の表現、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。**	

Active Grammar 3	is／3 人称単数現在形	教科書ページ	p. 95
		配当時間	1 時間
		学習時期	12 月
題材	自分と相手以外のことを伝える言い方		
単元目標	is や 3 人称単数現在形の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉is や 3 人称単数現在形の意味・形・使い方を理解している。 〈技能〉is や 3 人称単数現在形を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	○	○	○	○	○

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 95	• is（主語が 3 人称単数のときの be 動詞） • 3 人称単数現在形（主語が 3 人称単数のときの一般動詞） 【復習】	**is や 3 人称単数現在形の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit4～6 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • is／3 人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • ストーリーについて説明する活動などを通して、3 人称単数のときの be 動詞と一般動詞を使う練習をする。 • Speak (About You)の活動を行う。 • 学習状況に応じて、Extra の Unit 1 のストーリーの絵を見て、登場人物について説明する活動に取り組む。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの文の主語やそれに合わせた動詞の形（3 人称単数現在形）などを理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で is や 3 人称単数現在形の使い方を理解し、使うことができているかを見取る。	

Daily Life 4	道案内	教科書ページ	p. 96
		配当時間	1 時間
		学習時期	12 月
題材	地図		
単元目標 【重点化領域】	◎行き方をたずねたり伝えたりすることができる。【話すこと（SI-2）】		
基本文	• **How** can I get to Honcho Station? • **How long does it take** from here?		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉How ～? を使った行き方の尋ね方や、How long does it take ～? を使った所要時間のたずね方など、道案内特有の表現の意味・使い方を理解している。 〈技能〉How ～? を使った行き方の尋ね方や、How long does it take ～? を使った所要時間のたずね方など特有の表現についての理解をもとに、道案内のやり取りをする技能を身につけている。	○		◎		
思考・判断・表現	海外からの観光客に伝わるように、目的地までの道順や所要時間についての質問に答えたり、相手を気遣う言葉をかけたりするやり取りをしている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	海外からの観光客に伝わるように、目的地までの道順や所要時間についての質問に答えたり、相手を気遣う言葉をかけたりするやり取りをしようとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 96	• **How** can I get to Honcho Station? • **How long does it take** from here? — **It takes** about 10 minutes by bus.	**行き方をたずねたり伝えたりする。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 教科書 p. 96 のやり取り（モデルスキット）を聞いて、内容を確かめる。 • How ～? を使った行き方のたずね方や、How long does it take ～? を使った所要時間のたずね方など、道案内特有の表現の意味・使い方、語句の意味などを確かめ、モデルスキットの音読練習をする。 • ペアになり、モデルスキットを演じたり、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 • 本時の基本文等についてまとめ、単元の学習を振り返る。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（やり取り）」における 3 つの観点で評価する。**	

Active Grammar 4	疑問詞	教科書ページ	p. 97
		配当時間	1 時間
		学習時期	12 月
題材	yes や no では答えられないことのたずね方		
単元目標	疑問詞の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉疑問詞を使ったいろいろな疑問文の意味・形・使い方を理解している。	○	○	○	○	○
	〈技能〉疑問詞を使ったいろいろな疑問文を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 97	疑問詞 what, who, whose, which, where, when, why, how 【復習】	**疑問詞の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 4～6 のストーリーをもとに、疑問詞を使った疑問文の使用場面や意味を確かめる。 • 疑問詞を使ったいろいろな疑問文の形と、それぞれに答えるときの文の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 疑問詞を使ってたずねたり、答えたりする練習をする。 • Write (About You)の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの疑問詞を使った疑問文の意味や答え方を理解することができているかを見取る。 ○Write（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で疑問詞の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

You Can Do It! 2	ゲストの魅力を伝える MC になろう	教科書ページ	pp. 98-99
		配当時間	2 時間
		学習時期	12 月
題材	有名人		
単元目標 【重点化領域】	◎身近な人のことを紹介することができる。【読むこと（R-2)】【書くこと（W-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。		◎			◎
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、ゲストに迎える人物についての紹介文の内容を読み取ったり、紹介文を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物がゲストについて紹介したいことを知るために、ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	ゲストの魅力を動画の視聴者に伝えるために、伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	登場人物がゲストについて紹介したいことを知るために、ゲストを呼び込むときに使う台本を読んで、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			
	ゲストの魅力を動画の視聴者に伝えるために、伝えたい情報を整理して、ゲストを呼び込むときに使う台本を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 98		**ゲストの紹介文を読んで、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 紹介文を読んで、おおまかな内容を捉えた後、書き手がゲストと特に話したいと思っていることはなにかを読み取る。 • 紹介文の詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
2	p.99		**ゲストを紹介する台本を書く。** • 紹介するゲストを決め、その人についての情報を書き出した後、伝えたい情報を整理しながら、書く内容や構成を考える。 • 台本を書く。 • 学習状況に応じて、Extra の台本を読み合い、誰をゲストにするかを投票で決める活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Writing モデル」を参照したり、Look Back の既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

Unit 7	The New Year in Japan	教科書ページ	pp.100-111
		配当時間	10 時間
		学習時期	1 月
題材	年末年始		
単元目標 【重点化領域】	◎出来事を伝えるはがきを読み、おおまかな内容を捉えることができる。 【読むこと（R-2）】 ◎出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書くことができる。【書くこと（W-2）】		
基本文	Part 1　I **went** to a temple on New Year's Eve.／I watch**ed** TV with my family. Part 2　**Did** you eat any traditional food**?**　—Yes, I **did**. / No, I **didn't**. I **didn't** eat any traditional food. Part 4　It **was** fun.／The traditional buildings **were** beautiful.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉一般動詞や be 動詞の過去形の文の意味・形・使い方を理解している。	○	◎	○	○	◎
	〈技能〉一般動詞や be 動詞の過去形についての理解をもとに、冬休みの様子などについて書かれたはがきの内容を読み取ったり、冬休みの様子を書いたりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物から送られてきたメッセージの内容を知るために、はがきを読み、おおまかな内容を捉えている。		◎			
	冬休みの様子を David に伝えるために、伝えたい情報を整理して、はがきの返事を書いている。					◎
主体的に学習に取り組む態度	登場人物から送られてきたメッセージの内容を知るために、はがきを読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		◎			
	冬休みの様子を David に伝えるために、伝えたい情報を整理して、はがきの返事を書こうとしている。					◎

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp.100-101)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You）、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 102)	• I **went** to a temple on New Year's Eve. • I watch**ed** TV with my family.	**本文の内容を捉え、文脈の中で一般動詞の過去形の肯定文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、一般動詞の過去形の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、一般動詞の過去形の肯定文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 103)		**目的や場面に沿って一般動詞の過去形の肯定文を使う練習をする。** • 登場人物の留守番電話のメッセージから、電話の用件や話し手が昨日したことを聞き取る。 • ペアになり、昨日したことを伝え合う。 • 自分が昨日したことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、電話の用件（話の概要）を捉え、話し手が昨日したことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、一般動詞の過去形の肯定文などを用いて、昨日したことを話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、詳しい情報を付け足すよう促すなど、伝えたいことがよりわかりやすいように具体的に書く練習をさせることで、Goal の「出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書く」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 104)	• **Did** you eat any traditional food**?** — Yes, I **did**. / No, I **didn't**. • I **didn't** eat any traditional food.	**本文の内容を捉え、文脈の中で一般動詞の過去形の疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、一般動詞の過去形の疑問文・否定文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、一般動詞の過去形の疑問文・否定文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
5	Part 2 活動 (p. 105)		**目的や場面に沿って一般動詞の過去形の疑問文・否定文を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、大みそかにしたことを聞き取る。 • 大みそかや元日にしたことを、友達 5 人にインタビューする。 • 最も多くの友達が大みそかや元日にしたことをたずねる文を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が大みそかにしたことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、一般動詞の過去形の疑問文・否定文などを用いて、大みそかや元日にしたことについて話している／書いているかを見取る。	
6	Part 3 本文 (pp.106-107)		**本文の内容を捉える。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 4 本文 (p. 108)	• It **was** fun. • The traditional buildings **were** beautiful.	**本文の内容を捉え、文脈の中で be 動詞の過去形の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、be 動詞の過去形の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、be 動詞の過去形について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	**★聞く／読む活動の際、「おおまかな内容」（はがきに書かれている中心となる出来事）を捉えることを意識して聞く／読むよう促すなど、Goal の「出来事を伝えるはがきを読み、おおまかな内容を捉える」活動につながる指導を行う。**
8	Part 4 活動 (p. 109)		**目的や場面に沿って be 動詞の過去形を使う練習をする。** • 登場人物の話から、冬休み中に話し手がしたこととその感想を聞き取る。 • ペアになり、冬休み中の印象的な出来事と、その感想を伝え合う。 • 冬休み中の印象的な出来事と、その感想を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、冬休み中に話し手がしたこととその感想を聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、be 動詞の過去形などを用いて、冬休み中の印象的な出来事と、その感想を話している／書いているかを見取る。	**★書く活動の際、詳しい情報を付け足したり、感想を表す言葉を帯教材「Active Words」(p. 144)から探して表現を工夫したりするよう促すなど、伝えたいことがよりわかりやすいように練習をさせることで、Goal の「出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書く」活動につながる指導を行う。**
9	Goal (p. 110)		**出来事を伝えるはがきを読み、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • はがきを読み、はがきの内容を伝える写真を選んだ後、David が特に興味をもっていることがわかる文に線を引く。 • Q&A などを通して、はがきの内容の詳細や新出語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	
10	Goal (p. 111)		**出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書く。** • 自分の冬休みの出来事や感想などを書き出し、伝えたい情報を整理する。 • David への返事をはがきに書いて、伝える内容を見直す。 • はがきを友達と読み合う。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「書くこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「返事を読んだ David が興味をもってくれる内容になっているか」の観点で、文章の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Read などで読んだことを参考にさせるとよい。**

Active Grammar 5	動詞の過去形	教科書ページ	p. 112
		配当時間	1 時間
		学習時期	2 月
題材	過去の出来事や状態などを伝える言い方		
単元目標	動詞の過去形の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉動詞の過去形の意味・形・使い方を理解している。 〈技能〉動詞の過去形を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	○	○	○	○	○

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 112	• 一般動詞の過去形 • be 動詞の過去形 【復習】	**一般動詞／be 動詞の過去形の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 7 のストーリーをもとに、一般動詞／be 動詞の過去形の使用場面や意味を確かめる。 • 一般動詞／be 動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • ストーリーについて説明する活動などを通して、一般動詞／be 動詞の過去形を使う練習をする。 • Speak (About You)の活動を行う。 • 学習状況に応じて、Extra の Unit3 のストーリーの絵を見て、出来事や状態などを説明する活動に取り組む。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの動詞の過去形と原形を理解することができているかを見取る。 ○Speak（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中でそれぞれの動詞の過去形の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Daily Life 5	イベントの案内	教科書ページ	p. 113
		配当時間	1 時間
		学習時期	2 月
題材	イベント案内		
単元目標 【重点化領域】	◎イベントの案内から、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと（R-1）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉日付や場所、金額の表す表現や語句、助動詞 can や命令形の意味や働きなどを理解している。 〈技能日付や場所、金額の表す表現や語句、助動詞 can や命令形の意味や働きなどについての理解をもとに、イベントの案内を読み取る技能を身につけている。		◎			
思考・判断・表現	友達の質問に答えるために、イベントの案内から、必要な情報を読み取っている。		◎			
主体的に学習に取り組む態度	友達の質問に答えるために、イベントの案内から、必要な情報を読み取ろうとしている。		◎			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 113		**イベントの案内から、必要な情報を読み取る。** • 単元の目標と、やり取りの目的や場面、状況などを確かめる。 • 案内を読み、1.の「どのイベントについての案内か」に答える。その後、全体でイベントの案内のタイトルや見出しなどを確認し、おおまかな内容を確かめる。 • 2.の友達の質問を読み、案内の中の答えが書かれた箇所に線を引く。 • リーディングのポイントとなる文や語句の意味・使い方、必要な情報の読み取り方などを確かめ、単元の学習を振り返る。	**◎ 設定された問いに対する回答（ワークシート等）を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。**	**★巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 152（［英語をよりよく使うための TIPS］内の［聞いたり読んだりするときのコツ］）を参照させるなど、これまで学習した必要な情報を読み取るときに意識するとよいことを思い出させる。**

Unit 8	Getting Ready for the Party	教科書ページ	pp.114-123
		配当時間	9 時間
		学習時期	2 月
題材	誕生日会		
単元目標 【重点化領域】	◎場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉えることができる。 【聞くこと（L-2)】 ◎場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明することができる。 【話すこと（SP-2)】		
基本文	Part 1　**I'm** bak**ing** a cake now. Part 2　**Are** you bak**ing** a cake**?**　—Yes, I **am**. / No, **I'm not**. **What are** you do**ing?**　— We **are** decorat**ing** the cake now. Part 3　**What were** you do**ing?**　— I **was** shopp**ing**.		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉現在進行形や過去進行形の文の意味・形・使い方を理解している。	◎	○	○	◎	○
	〈技能〉現在進行形や過去進行形などについての理解をもとに、誕生日パーティーの様子についての説明を聞き取ったり、説明したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	登場人物や誕生日パーティーがどのような様子か知るために、電話での説明を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	◎				
	登場人物や誕生日パーティーの様子を Grandpa に伝えるために、伝える情報を整理して、起こっていることなどを説明している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	登場人物や誕生日パーティーがどのような様子か知るために、電話での説明を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	◎				
	登場人物や誕生日パーティーの様子を Grandpa に伝えるために、伝える情報を整理して、起こっていることなどを説明しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	扉 (pp.114-115)		**ストーリーのおおまかな内容をつかむ。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 単元の題材に関する自分のことを伝え合い（About You)、ストーリーを予想する。 • ストーリー全体を通して聞き、ピクチャーカードを場面順に並べ替える。 • 映像を見て、ストーリーのおおまかな内容を確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 ○Speak（About You）の問いに対するやり取りなどから、単元で扱うトピックについて、どの程度聞いたり話したりできるかを見取る。 ○学習者用端末でのピクチャーカードの並べ替えの様子などから、ストーリーの概要を捉えているかを見取る。	
2	Part 1 本文 (p. 116)	• I'm bak**ing** a cake now.	**本文の内容を捉え、文脈の中で現在進行形の肯定文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、現在進行形の肯定文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、現在進行形の肯定文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
3	Part 1 活動 (p. 117)		**目的や場面に沿って現在進行形の肯定文を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、選んだ写真の中の人物がしていることを聞き取る。 • ペアになり、1 人が写真を選んで説明し、もう 1 人がどの写真かを当てるやり取りをする。 • 自分が選んだ写真の説明を書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物が選んだ写真の中の人物がしていることを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、現在進行形の肯定文などを用いて、写真について話している／書いているかを見取る。	**★話す活動の際、Listen で各登場人物がどのような英語で表現していたかをもう一度聞いて確かめるよう促すなど、Goal の「場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明する」活動につながる指導を行う。**
4	Part 2 本文 (p. 118)	• **Are** you bak**ing** a cake**?** — Yes, I **am**. / No, **I'm not**. • **What are** you do**ing?** — We **are** decorat**ing** the cake now.	**本文の内容を捉え、文脈の中で現在進行形の疑問文の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、現在進行形の疑問文の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、現在進行形の疑問文について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
5	Part 2 活動 (p. 119)		**目的や場面に沿って現在進行形の疑問文を使う練習をする。** • 登場人物の電話での会話から、していることを聞き取る。 • ペアになり、1 人が教科書の絵の中の人物の動作をまね、もう 1 人が何をしているかを当てるやり取りをする。 • 自分がまねした人物がしていることを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、登場人物がしていることを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、現在進行形の疑問文などを用いて、している動作について話している／書いているかを見取る。	**★聞く活動の際、絵を手がかりにして聞いたり、場面の様子を絵で思い浮かべながら聞いてみるよう促すなど、Goal の「場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉える」活動につながる指導を行う。**

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
6	Part 3 本文 (p. 120)	• **What were** you do**ing?** — I **was** shopp**ing**.	**本文の内容を捉え、文脈の中で過去進行形の意味・形・使い方を理解する。** • Q&A などを通して、本文の詳細を確かめる。 • 語句や表現、過去進行形の意味・形・使い方を確かめる。 • 本文を聞いたり音読したりして、発音と綴りを一致させる。	○教科書やワークシート等の Q への回答の様子から、過去進行形について理解し、内容を読み取っているかを見取る。 ○意味を理解し、英語らしい発音やリズムで本文を音読しているかを見取る。	
7	Part 3 活動 (p. 121)		**目的や場面に沿って過去進行形を使う練習をする。** • 登場人物の会話から、昨日の夜にしていたことを聞き取る。 • ペアになり、昨日の夜８時に何をしていたかをたずね合う。 • 昨日の夜８時に、友達と自分がしていたことを書く。	○Listen の質問への回答の様子から、昨日の夜に登場人物がしていたことを聞き取っているかを見取る。 ○やり取りの様子やワークシートから、過去進行形などを用いて、昨日の夜8時に何をしていたかを話している／書いているかを見取る。	
8	Goal (p.122)		**場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 登場人物の電話での会話を聞き、説明している場面の様子に合う絵を選ぶ。 • Q&A などを通して、会話の詳細や出てきた語句などを確かめる。	**◎Goal に設定された問いに対する回答（ワークシート等）ややり取りの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における３つの観点で評価する。**	
9	Goal (p. 123)		**場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明する。** • ペアになり、一方がパーティーの様子を説明する練習をする。 • 伝える内容や説明の仕方を見直し、Nick になったつもりでパーティーの様子をリポートする。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎Goal に設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表）」における３つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、「場面の様子を詳しく説明できているか」の観点で、発表の内容や表現を見直すよう促す。その際、Part の本文や Goal の Listen などで聞いたり読んだことを参考にさせるとよい。**

World Tour 2	世界の中学生②	教科書ページ	p. 124
		配当時間	（1 時間）
		学習時期	3 月
題材	世界の中学生の 1 日		
単元目標	日常生活の紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	○				
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、1 日の過ごし方について紹介する動画の内容を聞き取る技能を身につけている。					
思考・判断・表現	世界の中学生について知るために、その人の 1 日の過ごし方などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合っている。					
主体的に学習に取り組む態度	世界の中学生について知るために、その人の 1 日の過ごし方などを紹介する動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	○				
	題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合おうとしている。					

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 124		**世界の中学生が 1 日の過ごし方を紹介している動画から、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 自分との共通点や相違点を考えながら紹介動画を見て、おおまかな内容を捉える。気づいたことはメモしておく。 • ペアになり、メモをもとに、気がついたことや驚いたことを伝え合う。 • 全体で動画の詳細を確かめた後、もう一度動画を見て、おおまかな内容を振り返る。 • 学習状況に応じて、Extra の自分の 1 日を世界の中学生に向けて紹介する活動に取り組む。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○動画を視聴して取ったメモから、概要や自分との共通点や相違点を聞き取っているかを見取る。	

Active Grammar 6	現在進行形／過去進行形	教科書ページ	p. 125
		配当時間	1 時間
		学習時期	3 月
題材	している最中のこと・している最中だったことを伝える言い方		
単元目標	現在進行形と過去進行形の形や意味、働きを理解することができる。		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉現在進行形や過去進行形の意味・形・使い方を理解している。 〈技能〉現在進行形や過去進行形を用いて、実際のコミュニケーションを行う技能を身につけている。	○	○	○	○	○

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 125	• 現在進行形 • 過去進行形 【復習】	**現在進行形や過去進行形の文の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。** • Unit 8 のストーリーをもとに、それぞれの文法の使用場面や意味を確かめる。 • 現在進行形／過去進行形の肯定文・疑問文・否定文の形を整理する。 • Grammar Hunt の活動を行う。 • 現在進行形と過去進行形の文を使う練習をする。 • Write (About You)の活動を行う。 • 単元の学習を振り返り、自己評価をする。	○教師とのやり取りにおける回答の様子や、Grammar Hunt への取り組みの様子などから、それぞれの文が表している状況を理解することができているかを見取る。 ○Write（About You）への取り組みの様子から、言語活動の中で現在進行形や過去進行形の意味や働きを理解し、使うことができているかを見取る。	

Let's Read 2	The Lion and the Mouse	教科書ページ	pp.126-127
		配当時間	2 時間
		学習時期	3 月
題材	イソップ物語		
単元目標 【重点化領域】	◎物語を読んで、あらすじを捉えることができる。【読むこと（R-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉時を表す語句、一般動詞の過去形、助動詞 can などの意味や働きを理解している。 〈技能〉時を表す語句、一般動詞の過去形、助動詞 can などの意味や働きについての理解をもとに、ライオンとネズミの物語の内容を読み取る技能を身につけている。	○	◎			
思考・判断・表現	読むことの楽しみを味わうために、ライオンとネズミの物語を読み、あらすじを捉えている。		◎			
主体的に学習に取り組む態度	読むことの楽しみを味わうために、ライオンとネズミの物語を読み、あらすじを捉えようとしている。		◎			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 126-127		**キーワードや挿絵から、物語の内容を予想する。** • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • 提示された 4 つのキーワードや挿絵から、物語の内容を予想する（Before You Read)。 **物語を通して聞いたり読んだりして、おおまかな内容を捉える。** • 本文全体を通して聞き、物語の場面をイメージする。 • 本文全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 **物語の初めからライオンがネズミを逃す場面までの、出来事の詳細を読み取る。** • p. 126 の本文について、T or F や Q&A などを通して、出来事の詳細を確かめる。 • p. 126 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Before You Read への回答の様子から、物語の展開をどのように予想しているかを見取る。 **◎While You Read への回答（ワークシート等）の様子から、内容を理解しているかを見取る。**	
2	p. 127		**ライオンが捕まる場面から物語の終わりまでの、出来事の詳細を読み取る。** • p. 127 の本文について、T or F や Q&A などを通して、出来事の詳細を確かめる。 • p. 127 の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **物語のあらすじを確かめる。** • 物語の内容の順に文章を並べ替えてあらすじを確かめたり、ネズミがライオンを助けた理由をもとに原因と結果の関係を整理したりする（After You Read)。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎After You Read への回答（ワークシート等）を、本単元の評価規準・基準に照らし、「読むこと」における 3 つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★TIP（p. 127）、巻末付録「英語の学び方ガイド」の p. 153（[英語をよりよく使うための TIPS] 内の『聞いたり読んだりするときのコツ』5. 物語の読み方）も参考にしながら、物語の読み方を確認する。**

You Can Do It! 3	動画で学校の魅力を紹介しよう	教科書ページ	pp.128-129
		配当時間	2 時間
		学習時期	3 月
題材	学校、学校行事		
単元目標 【重点化領域】	◎イベントや学校を紹介することができる。【聞くこと（L-2)】【話すこと（SP-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。	◎			◎	
	〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、学校紹介の内容を聞き取ったり、学校を紹介したりする技能を身につけている。					
思考・判断・表現	イギリスに住む Lizzy の学校について知るために、学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えている。	◎				
	Lizzy に自分の学校の魅力を伝えるために、伝えたい情報を整理して、学校を紹介している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	イギリスに住む Lizzy の学校について知るために、学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	◎				
	Lizzy に自分の学校の魅力を伝えるために、伝えたい情報を整理して、学校を紹介しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	p. 128		**Lizzy の投稿した学校紹介を聞いて、おおまかな内容を捉える。** • 活動の目的や場面、状況などを確かめる。 • 単元の目標を確認し、自己目標を設定する。 • Lizzy のすすめる４つのことを聞いて、それぞれを表す写真を選んで順番に答える。 • Lizzy の学校紹介をもう一度聞いて、自分が体験してみたいことを選ぶ。 • 紹介文の詳細を、語句や表現の確認、T or F や Q&A などを通して、クラス全体で確かめる。	○ワークシート等から、どのような自己目標を設定しているかを見取る。 **◎設定された問いに対する回答（ワークシート等）や取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「聞くこと」における３つの観点で評価する。**	
2	p. 129		**自分の学校の魅力を伝える紹介動画を作る。** • グループになり、学校の魅力について、アイデアを出し合う。 • 出したアイデアをもとに、話す内容を整理する。 • 学校を紹介する動画を撮影し、グループで見せ合い、一番魅力的なものをクラスで選ぶ。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	**◎設定された課題にもとづく取り組みの様子を、本単元の評価規準・基準に照らし、「話すこと（発表)」における３つの観点で評価する。** ○振り返りシート等から、どのような自己評価をしているかを見取る。	**★中間振り返りの際、二次元コードから「Speaking モデル」を参照したり、Look Back の既習 Unit を振り返って使える表現を探したりするよう促す。**

Let's Read More	My Japanese Lessons	教科書ページ	pp.130-131
		配当時間	(2 時間)
		学習時期	3 月
題材	日本語と英語		
単元目標	レポートを読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと（R-2)】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、日本語と英語について書かれたレポートの内容を読み取る技能を身につけている。		○			
思考・判断・表現	Tina が日本語を学びながら感じたことを知るために、レポートを読み、おおまかな内容を捉えている。		○			
主体的に学習に取り組む態度	Tina が日本語を学びながら感じたことを知るために、レポートを読み、おおまかな内容を捉えようとしている。		○			

◎記録に残す評価を行う、重点化領域

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）　※帯活動は省略	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
1	pp. 130-131		**レポート全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。** • Tina について知っていることやタイトルや写真を参考に、レポート全体を通して読み、おおまかな内容を捉える。 **Tina のレポートの、前半部分の内容について読み取る。** • p. 130 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめる。 • p. 130 の本文を音読したり、文法等を確認したりして、学習内容をまとめる。	○Q & A などへの回答（ワークシート等）から、レポートのおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	
2	p. 131		**Tina のレポートの、後半部分の内容について読み取る。** • p. 131 の本文について、T or F や Q&A などを通して、内容の詳細を確かめる。 • p. 131 の本文を音読したり、文法等を確認したりする。 **設問の答えを確かめ、日本語と英語の違いについて考える。** • After You Read の設問の答えを確かめる。 • 学習状況に応じて、Extra に示された(1)(2)のお題を通して日本語と英語の違いについて考える活動に取り組む。 • 単元の学習全体を振り返り、自己評価をする。	○Q&A や After You Read などへの回答（ワークシート等）から、レポートのおおまかな内容や詳細を捉えているかを見取る。	

Story Retelling		教科書ページ	pp.132-139
		配当時間	帯活動の時間
		学習時期	通年
題材	ストーリー		
単元目標 【重点化領域】	◎ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話すことができる。【話すこと（SP-2）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、ストーリーの登場人物や出来事について話す技能を身につけている。				◎	
思考・判断・表現	ストーリーの内容を伝えるために、情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明している。				◎	
主体的に学習に取り組む態度	ストーリーの内容を伝えるために、情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明しようとしている。				◎	

◎記録に残す評価を行う、重点化領域（Story Retelling を学期末のパフォーマンステスト等に活用する場合）

〈帯活動の時間を 10 分程度割り当てて、Unit 1 のストーリーをリテリングする場合の例〉

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
帯	pp. 132-139		**ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話す。** • 活動の目標と自己目標を確かめる。 • Unit 1 のストーリーの音声を聞くなどして、内容を思い出す。 • p. 132 の絵を見ながら、リテリングのしかたを考える。（1 分間） • ペアになり、ストーリーの内容を相手に説明する。 • 振り返りの時間の後、もう一度リテリングに取り組む。 • 学習状況に応じて、話したことをノートに書く。（3 分間）	**◎話している様子から、ストーリーの内容を理解し、伝えたい情報を整理して、相手に伝わる表現・語句を用いて説明しているかを見取る。**	**★リテリングの仕方がわからない生徒には、二次元コードからモデル動画を参照するよう促し、話す内容や話し方のイメージをもたせる。** **★説明しづらそうな場面については、これまでに学習した本文などから使える表現を探すよう促す。**

Let's Talk!		教科書ページ	とじ込み pp. ①-⑧
		配当時間	帯活動の時間
		学習時期	通年
題材	自分や相手のこと		
単元目標 【重点化領域】	◎自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。【話すこと（SI-1）】		

観点	本単元の評価規準（例）	主な領域				
		L	R	SI	SP	W
知識・技能	〈知識〉既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 〈技能〉既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことや興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。			◎		
思考・判断・表現	自分のことを相手に知ってもらい、相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合っている。			◎		
主体的に学習に取り組む態度	自分のことを相手に知ってもらい、相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合おうとしている。			◎		

◎記録に残す評価を行う、重点化領域（Let's Talk! を学期末のパフォーマンステスト等に活用する場合）

〈帯活動の時間を 5〜10 分程度割り当てて、1 分間自由にやり取りする場合の例〉

時	ページ	基本文等	ねらいと主な活動内容（例）	◎記録に残す評価　○形成的評価（見取り）	単元の到達目標を意識したポイント
帯	とじ込み pp. ①-⑧		**自分や相手のことについて、その場でやり取りする。** • 活動の目標と自己目標を確かめる。 • その時間に扱うテーマや話題を指定し、教師が Small Talk を行う。 • ペアになり、生徒同士がやり取りをする。 • 振り返りの時間の後、もう一度やり取りに取り組む。 • 学習状況に応じて、やり取りしたことをノートに書く。（3 分間）	**◎やり取りの様子から、相手に伝わる表現・語句を用いて、自分のことを伝えたり質問したりしているかを見取る。**	**★実態に応じて、やり取りの前に、1 人で話す（発表形式で話す）。** **★帯教材「Let's Talk!」の「ステップアップのしかた」（とじ込み⑧）に応じた段階を設けて、トピックについて話すことに慣れさせる。** **★やり取りの仕方がわからない生徒には、二次元コードからモデル動画を参照するよう促し、話す内容ややり取りの続け方を確かめさせる。**